

# トンボ池整備作業報告

作業日:2023年2月5日 11:00~12:30 参加者:25名

トンボ池は公園開設時に、竹ヶ谷の水生生物保護を目的として新しく掘削された池です。期待通り池は多くの水生生物の生息場所となり、特に多種のトンボが観察でき、トンボ池(仮称)の名前の由来となっています。しかし開園から8年、池は多くの土砂が流れ込んで堆積が進み、半分ほどが陸地化してガマが繁殖して開放水面が減り、トンボ観察も減ってきました。

今回作業は土砂対策の沈砂池の堆積土砂を掘削して堆積に備え、繁茂したガマを刈り取って「開放水面を増やす」ことを目的に、5つの会の皆さん、一般参加者合同で25名の方に協力頂きました。参加者は沈砂池を掘る掘削班、ガマ刈班、池の生き物を保護する生物班に分かれ、1時間半の作業で目標の沈砂池掘削、ガマ全刈り取り、多数の生き物保護が達成できました。少し重労働のイベントでしたがご協力ありがとうございました。



作業前の荒涼とした池



沈砂池掘削・ガマ全刈り取りされた作業後



懸命の沈砂池掘削中、生き物採集



ガマの刈り取り、池出口の生き物採集

## 確認できた水生生物たち

ヤマサナエの幼虫 13 ヘビトンボ類 11 ミズムシ 30  
アメリカザリガニ 10 ガガンボ幼虫 7 ホトケドジョウ 8  
カワニナ多数 オケラ 3 シマアメンボ 5



シマアメンボ



ホトケドジョウ



掘削土砂の土う 100個くらい？



ヤマサナエヤゴ



ヘビトンボヤゴ



オケラ



ガガンボ幼虫



ミズムシ

作業参加者 事務局:渡邊・柴田 森の会:望月 田んぼの会:平岩・西田・向・藤本 畑の会:森田・岡田・光谷  
散策路の会:渡邊・鈴木・宇都宮 柴田さん友人:山田明・佐渡・松永 みんなの家:沢渡  
自然観察の会:山田、小野、中山、大貫、野村、石津、上村、小坂 計24名